

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第1区分

【発行日】平成19年5月31日(2007.5.31)

【公開番号】特開2005-302554(P2005-302554A)

【公開日】平成17年10月27日(2005.10.27)

【年通号数】公開・登録公報2005-042

【出願番号】特願2004-117738(P2004-117738)

【国際特許分類】

H 01 M 4/86 (2006.01)

H 01 M 4/88 (2006.01)

H 01 M 8/02 (2006.01)

H 01 M 8/10 (2006.01)

【F I】

H 01 M 4/86 M

H 01 M 4/86 B

H 01 M 4/88 Z

H 01 M 8/02 E

H 01 M 8/10

【手続補正書】

【提出日】平成19年4月5日(2007.4.5)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

陽イオン交換樹脂のプロトン伝導経路とカーボンの表面との接面に触媒金属と酸化チタンとが選択的に備えられた触媒電極をアノードに用いたことを特徴とする固体高分子形燃料電池。

【請求項2】

カーボンと混合された陽イオン交換樹脂に吸着した触媒金属の陽イオンを還元して、カーボンと陽イオン交換樹脂と触媒金属とを含む混合物を形成する工程と、

その工程の後に、前記混合物とチタニウムアルコキシドとの混合物中でチタニウムアルコキシドを加水分解する工程を備えることを特徴とする固体高分子形燃料電池の製造方法。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0013

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0013】

請求項2の発明は、固体高分子形燃料電池の製造方法において、カーボンと混合された陽イオン交換樹脂に吸着した触媒金属の陽イオンを還元して、カーボンと陽イオン交換樹脂と触媒金属とを含む混合物を形成する工程と、その工程の後に、前記混合物とチタニウムアルコキシドとの混合物中でチタニウムアルコキシドを加水分解する工程を備えることを備えることを特徴とする。